第３分科会　書くことⅠ

**UDデジタルNP-R 16Ｐ**

指導案の形式について　R5.３.２２版

**UDデジタルNP-R　10.5Ｐ**

第　学年国語科学習指導案

**右寄せ UDデジタルNP-R 10.5Ｐ**

授業学級　宮崎市立○○中学校

○年○組　授業者　○○　○○

**見出しは全て　UDデジタルNP-R 10.5Ｐ**

１　単元・題材　　〇〇〇〇（出版会社〇年）

２　目　標

**目標は、３つ設定する。**

**身につけさせたい力が明らかになるようにし、全て生徒の立場で記述。**

　〇

　〇

　〇

３　本単元における言語活動　　関連：【目標と領域名を記入】

**規準は、３つ設定する。**

**目標と対応した評価が明らかになるようにし、全て生徒の立場で記述。**

４　本単元における評価規準

５　指導観

題材観には、授業を行うに当たって、世の中や生徒の現状と本教材の特色や学ぶことを通しての利点・価値を中心に、学習指導要領との関連を図りながら記述する。（指導要領との関連は、前半に記述を。）

生徒観には、これまでの授業の取組から国語全体に関する生徒の状況や本教材の領域に関する現状をデータ（過去のアンケートや小テスト結果の集約）などから明らかにし、どのような力をつけることが必要とされているかを記述する。

指導観には、「題材観」「生徒観」の記述内容を受けて、どのような手法でどのような力を生徒たちにつけたいのかがわかるように記述する。

①　その単元（題材）を通して、何（どのような力）を身に付けさせたいのか、それをどのような手立てで身に付けさせるのかを明記する。（手立てとして、重点的に取り組む言語活動についても記述する。）

②　①の内容に関して、生徒に見通しをもたせる場について指導観で触れる。

（「～工夫をする」「導入段階で～活動を取り入れる」等）

・本時に関わる部分については、少し詳しく記述する。

・「努力を要する」状況と判断される生徒への手立てを記述する。

（明確で、具体的な手立てを１つ記述する。）

６　指導計画と評価計画 （全○時間）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 主な学習活動及び学習内容（ICTの活用） | 時間 | 評価【評価の観点】　　（評価の方法） |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

デジタルを活用した部分を□で囲む。

**１時間１目標の考え方から、もっとも生徒につけさせたい力に関する目標を、生徒の立場で１つ。**

**（原則は１つであるが、内容や指導によって２つになることも可）**

**語尾は、「～できる」が望ましい。**

７　本時の目標

**授業で確認する学習用語を活用した語彙については二重四角で囲む**

**語尾「～する。」**

**活動を明確に。**

８　学習指導過程

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学習活動及び学習内容（ICTの活用） | 指導上の留意点 | 評価【評価の観点】（評価の方法） | 資料及び準備 |
| 導入 |  |  |  |  |
| 展開 |  |  |  |  |
| 終末 |  |  |  |  |

デジタルを活用した部分に下部線を入れ記入する。

**「努力を要する」状況と判断される生徒に対する手立てについては、「指導上の留意点」の中に具体的に記入する。**

**語尾「～指導する。」「～指示する。」「～させる。」**

**語尾「～ために、～する。」**

**「～を使って、～する。」**

**（教師の立場で書く）**

《基本形》

①　字数（**４５文字×４５行**を目安。）

②　余白（上下左右ともに、**20mm**を目安。）

③　字体（**見出しは**ＭＳゴシック**・文章はＭＳ明朝。**）

④　ポイント（**10.5Ｐ**を目安。）

⑤　ページ数（**４～５ページ**）

⑥　カンマは**「、」**で。

※　字数・余白・ポイントなど、上記の基準で収まらない場合もありえるので、極端にならない程度で調整をしてもらう。（小さい文字になっても可、ページ数は変えない。）

※　漢字表記と平仮名表記など、表記上の相違点は校正の段階で統一する。

GoogleJamboadを使って考えを可視化させる。

９　板書計画